

## 夏の報告

教頭 角 玲子

7月も終わりとなりました。雨らしい雨のないままに梅雨が明け、連日、厳しい暑さが続いています。強い日差しが照り付け、日中に外を歩くと肌を刺すような痛さを感じます。暑すぎのためか、セミの鳴き声も元気がなく、6月に既に咲いていたヒマワリの花はすっかり枯れてしまいました。畑の作物も、今年の今頃はたくさん実っていたように思うのですが、今年は少し元気がないように思います。毎年、異常気象と言われ続けていますが、今年の夏はいつも以上に異常気象であると感じます。

さて、7月27日に2本の夏季公開講座を本校で開催しましたので、少しだけ報告します。

### ① テーマ「障がいのある子を持つ親が知っておきたいお金の話」

講師：佐藤 加根子様

(一般社団法人 障害のある子のライフプランサポート協会代表理事)

ひとつめは、本校の保護者を対象に、上記のテーマで講師に話をいただきました。佐藤先生は自閉症のお子さんをもつファイナンシャル・プランナー（FP）です。母親の気持ちと、FPとしてのプロの目線から、障害のあるお子さんをもつご家族が生涯を通じて、親なき後も安心できる準備の情報提供をされています。

当日は、将来、子どもたちの収入がどれくらいか、独立しグループホームなどを利用する場合、どのくらいのお金が必要か、成年後見人制度についてなど、なかなか聞けない具体的にことについてお話いただきました。講演後の質問が途切れず、保護者の皆様の関心の高さがうかがえました。佐藤先生、貴重な話をありがとうございました。

### ② テーマ「小中学校でやっておくべき準備（卒業後の進路決定に向けて）」

講師：鈴木 貞久様（パーソルダイバーズ株式会社）

ふたつ目は、小中学校の教員対象にパーソルダイバーズ（株）の鈴木様をお招きし、本校の進路担当及び学年リーダーの3人によるパネルディスカッションによる公開講座を実施しました。企業が求めている人材やより良い進路選択のために必要なこと、家庭や学校で取り組んで欲しいことなどをテーマにディスカッションをすすめました。指示に従える、素直にコツコツと取り組むことができる姿勢を育てること、そのために、いろいろな経験を積み可能性を広げることが大切であることなどのキーワードがあがりました。会場の皆様からも質問を多数いただき、充実した内容となりました。参加の皆様ご協力ありがとうございました。

<岩戸のいま>

